



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか、追跡調査をした。

地域資源・歴史的資源の活用について

(平成23年11月)

来年1月からNHKの大河ドラマ「平清盛」が放映されるが、清盛の長男重盛公のお墓が上入野の小松寺にある。ドラマに便乗し町おこしに結びつけてはどうか。また具体的な方策と計画は。

質問

農業振興について

(城里町ブランド推奨品について)

(平成25年8月)

城里町内の5品がブランド推奨品に認定されたが、今後も増やすのか。また、推奨品等を食べるところが少ない、など販売面で苦労しているが、町としてPRは。また推奨窓口担当は。

ホームページ等でPRし、観光客誘致を

小松寺裏の重盛墳墓は県の指定文化財であり、ゆかりの地としてPRに努め、観光客の誘致につなげたい。具体的には、観光協会のホームページ等で、小松寺周辺のホロルの湯、ふれあいの里等。

答弁

今後も増やしていき、農協、普及センターと連携していく

農産物にこだわらず認定し、地元農協、県普及センターと連携したい。食べる所が少ないが、販売店舗は町内特産品直売所、農協Aコープ。担当課は産業振興課。

現在の状況は、こうなっています

町内の特色を生かして観光客の誘致を進めている

観光協会や町のホームページ等で重盛公の墳墓を紹介。また、重盛公や小松寺周辺のホロルの湯、ふれあいの里、鶏足山等を紹介するパンフレットを作成してイベント等で配布を行っております。今後も地域資源を活用しながら、ファミリー層や団塊の世代等各世代のニーズにあった城里町グリーンツーリズムを推進していく。

町のブランド品は現在28品目となっている

平成25年度時点で町のブランド品は5品であったが、現在は農産物や加工品等を28品認定している。今後も地元農協や普及センター等と連携しながら町の特色を生かした推奨品を増やしていくとともに、販売箇所の確保につとめていく。

編集後記

知人で家庭菜園を楽しんでいる女性がいます。道路脇なので、道行く子ども達が声をかけていくといいます。「ああいう挨拶は、気持ちがいいねえ」と知人は目を細めました。今は社会が、子供を大事にしようと、包み込むように接していますが、私が子どもの頃は、自然に子どもがそれぞれの家を行き来していました。その家の親から叱られ、褒められたこともありました。お互い様、と誰も思っていました。それも、子どもを大事にしていた社会の一つの形だったのでしよう。今、スマホ、ゲームが身近にあって、子どもが友達や地域で感情をぶつけ合うようになってきているか心配です。挨拶が自然に出たものならいいのですが。

議会広報委員会

委員長 藤 美子
副委員長 片岡 美子
委員 関 誠一
南 孝治
三 信一
村 部
部 孝一
部 信一

藤 美子 記